

取扱説明書

このたびはDXアンテナ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

DXアンテナの製品を正しく理解し、ご使用いただくために、
ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。



2K4K8K

120形BS・110度CSアンテナ

BSデジタル放送・スカパー!受信用 右・左旋円偏波対応

耐風速90m/s仕様

BC1203SH

※必ず120形BS・110度CSアンテナ用マウント金具
DSA-343(別売)と組み合わせて使用してください。

はじめに

設置

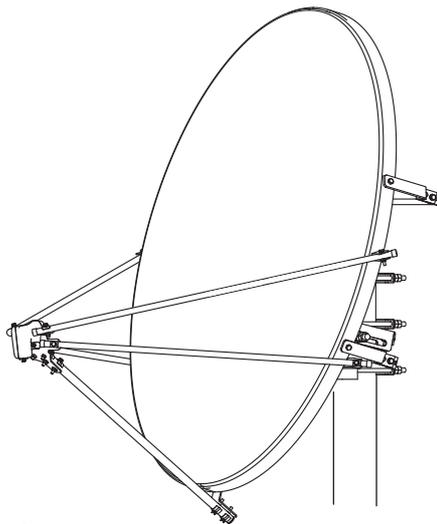
組立・取付

調整

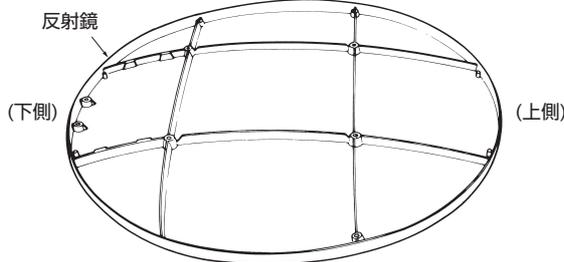
仕様

4K8K衛星放送に対応

すべての2K・4K・8K放送(3224MHz)に対応しています。



■梱包内容



反射鏡……1台



ステー φ16mm(短)
取付金具(右下)※
……1個



ステー φ16mm(短)
取付金具(左下)※
……1個



コンバーターアーム φ22mm
取付金具(中央下)※
……1個



ステー φ16mm(長)
取付金具 ……2個



六角ボルト (M8×15)※
……4本

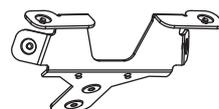
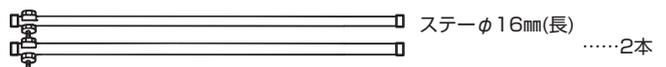
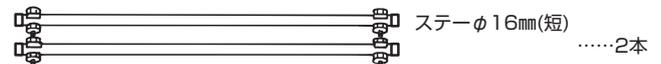


固定バンド ……2本



防水キャップ
……1個

※ 反射鏡に取り付けてあります。



コンバーター取付金具…1個



取扱説明書…1部



コンバーター…1個
(六角ボルト(M6×15)…2本)

もくじ

| | ページ |
|---------------------|-----|
| はじめに | |
| 安全上のご注意 | 2～3 |
| お取扱いの前に | 3 |
| 設置 | |
| BS・110度CSアンテナ設置について | 4 |
| 組立・取付 | |
| 金具の取り付け | 5 |
| アンテナマストへの取り付け | 6 |
| 仰角調整装置の取り付け | 6 |
| アンテナの組み立て | 7～8 |
| 接栓への同軸ケーブルのつなぎ方 | 8～9 |
| 調整 | |
| アンテナを調整する | 10 |
| 仕様 | |
| 規格特性 | 12 |
| 外形寸法図 | 12 |

| その他 付属品 | 数量 |
|----------------|----|
| 六角ボルト (M6×40) | 2本 |
| 角ワッシャー | 2個 |
| スプリングワッシャー(M6) | 2個 |
| 平ワッシャー(M6) | 2個 |
| ハードロックナット (M6) | 4組 |
| 六角ナット (M6×15) | 2個 |

このアンテナはスカパー!(110度CS)を受信できますが、スカパー!プレミアムサービス(JCSAT3,4)は受信できません。

保証書は取扱説明書の最後のページに記載しています。

安全上のご注意



△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は警告または注意）が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。



警告

この内容を見逃して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



- アンテナ工事およびテレビ受信関連工事には技術と経験が必要ですので、お買い上げの販売店もしくは工事店にご相談ください。



- アンテナの表面に弊社指定以外のシール類を貼ったり、塗装したりしないでください。太陽光の反射熱で熱せられてコンバーターが焼けたり、変形したりして、故障の原因となることがあります。（製品に使用しているシールおよび塗料は安全性と耐候性に問題がないことを検証して製品化しています。）



- コンバーターに接続する同軸ケーブルには電流が流れますので、同軸ケーブルを傷つけたり、無理に曲げたり、重いものをのせたり、加熱しないでください。火災や感電の原因となります。



- コンバーターのケースを開けたり、分解して内部に触れないでください。感電やけがの原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店もしくは工事店にご依頼ください。



- アンテナや取付装置などに登ったり、乗ったりしないでください。特にお子様のいるご家庭では注意してください。落ちたり、倒れたり、破損したりして、けがの原因となります。



- 雷が鳴り出したら、アンテナや同軸ケーブルには触れないでください。感電の原因となります。



- 万一、このアンテナを落としたり、コンバーターを破損した場合は、接続しているチューナーの電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると感電やけがの原因となります。



注意

この内容を見逃して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。



- 台風の後や積雪の後などは、アンテナや取付装置に緩みや異常が生じることがあります。そのままにすると破損したりして、けがや故障の原因となることがあります。点検はお買い上げの販売店または工事店にご依頼ください。



- アンテナや取付装置などに洗濯物や他の物品を掛けたりしないでください。倒れたり、破損したりして、けがの原因となることがあります。

《販売店・工事店様の安全上のご注意——お客様もお読みください》



警告

この内容を見逃して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



- 送配電線、ネオンサイン、電車の架線などの近くに設置しないでください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となります。また、電話線などの近くに設置しないでください。アンテナが倒れた場合、断線の原因となります。



- 高所などに設置する場合は、足場と安全を確保して行なってください。落ちたり、すべったりして、けがの原因となります。



- アンテナの部品や工具類を高いところから落とさないでください。けがの原因となります。



- 風の強い日や雨、雪、雷などの天候が悪い日は、危険ですので設置工事をしないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。

|  警告 | | この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
|---|--|---|
|  | <ul style="list-style-type: none"> ● 人や車両の通行の妨げになる場所には設置しないでください。人がぶつかったり、車両が接触してけがや破損の原因となります。 | |
|  | <ul style="list-style-type: none"> ● 強度の弱い場所、不安定な場所、ぐらついたり振動する場所や傾いた場所に設置しないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。 | |
|  | <ul style="list-style-type: none"> ● アンテナを煙突の付近や高温になる場所に設置しないでください。火災や感電の原因となります。 | |
|  | <ul style="list-style-type: none"> ● 組み立てや取り付けのネジやボルトは、締め付け力（トルク）に指定がある場合はその力（トルク）で締め付け、堅固に固定してください。指定外の締め付け力で組立て、取付しますと落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。 | |
|  | <ul style="list-style-type: none"> ● コンバーターに接続する同軸ケーブルに電流が流れますので、途中には通電形機器以外は絶対に挿入しないでください。火災や感電の原因となります。 | |
|  | <ul style="list-style-type: none"> ● コンバーターは仕様の電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災や感電の原因となります。 | |
|  | <ul style="list-style-type: none"> ● アンテナや取付装置のお手入れや点検は、風雨、雷、雪など天候の悪い日は、危険ですので作業を行わないでください。落ちたりして、けがの原因となります。 | |

|  注意 | | この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。 |
|---|---|--|
|  | <ul style="list-style-type: none"> ● このアンテナは、強風の影響を受けやすいので、アンテナの取り付けには、マストおよび取付金具類はアンテナ径により指定された十分強度のあるものを使用し、堅固に設置してください。 | |
|  | <ul style="list-style-type: none"> ● マンションやアパートなどによっては、取り付けに規制のあるところがあります。管理組合、管理事務所、自治会などに必ずご確認のうえ、取り付けてください。 | |
|  | <ul style="list-style-type: none"> ● アンテナの表面の汚れは、水またはぬるま湯を含ませた柔らかい布で、軽く拭きとってください。シンナー、ベンジンをはじめ薬品や洗剤は、表面の仕上げを傷めますので、使用しないでください。 | |

お取扱いの前に

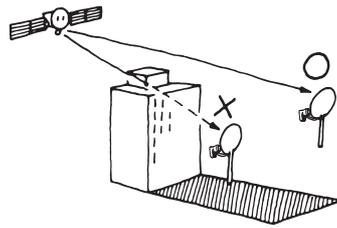
- 組み立て、取付作業は、この取扱説明書をよくお読みのうえ行なってください。
- 取付のときは、2人以上で行なってください。
- **雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、雪が付着すると、電波が弱くなり、受信できなくなる場合があります。**
- 設置後、万一締め付けや取り付けにゆらみが生じると危険ですので、定期的に点検をしてください。
- すべての放送(2K・4K・8K)を見るためには、3224MHzに対応した同軸ケーブル、プースター、分配器などが必要です。
- コンバーターの出力端子に取り付ける同軸ケーブルの心線径が1.0mmより太いものを使用する場合は、必ずコンタクトピン付のC15形接栓を使用してください。心線径が1.0mmより太い同軸ケーブルを直接接続すると故障の原因となります。

BS・110度CSアンテナ設置について

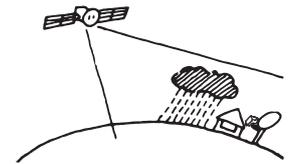
■ BS・110度CSアンテナ設置のポイント

衛星放送をより良く受信していただくために、次の事項にご注意ください。

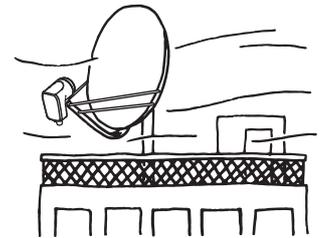
- 受信方向にビルや鉄塔、樹木などの障害物がある場合は、電波の受信に大きく影響します。電波障害の起こらない所か、樹木では成長や繁茂することを考慮に入れて、陰にならない所を選んで設置してください。



- 衛星からの電波は微弱です。そのため豪雨、厚い雲、雪によって、一時的に画面がチラついたり、音声途切れたりしますので、天候の悪い日は設置しないでください。



- このアンテナを取り付けるマストは、とくに屋上など高い場所に設置する時に、台風などの風に長期間耐えるようにし、しっかりと固定してください。

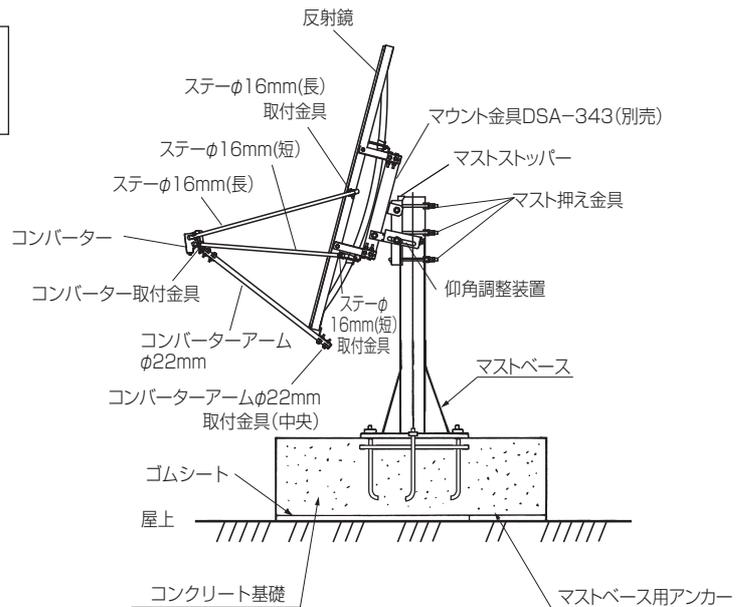


- このアンテナを、煙突の近くなど高温になる場所には設置しないでください。

■ BS・110度CSアンテナの設置例

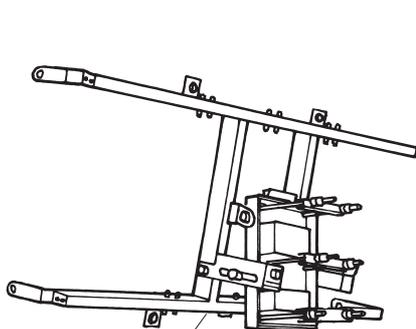
ご注意

- アンテナマストは垂直に立ててください。
- 屋上などに設置する場合は、強度・安全確保や防水処理が必要です。専門業者へご相談ください。



■ 120形BS・110度CSアンテナ用マウント金具(※以下"マウント金具") DSA-343(別売)について

- ※ マウント金具 DSA-343 (別売) は耐風速90m/s仕様の120形アンテナ専用のマウント金具です。必ずこのマウント金具をご使用ください。
- ※ 120形アンテナは、マスト中間取付けはできません。



マウント金具 DSA-343 (別売)

六角ボルト (M12×20)・スプリングワッシャー



六角ボルト (M8×40)・スプリングワッシャー・平ワッシャー・ハードロックナット (オス、メス)



六角ボルト (M8×40)・スプリングワッシャー・平ワッシャー



| 部品名 | 数量 |
|--------------------|-------|
| 120形固定マウント DSA-343 | 1セット |
| 120形固定マウント | (1台) |
| 六角ボルト (M12×20) | (4本) |
| スプリングワッシャー (M12) | (4個) |
| 六角ボルト (M8×40) | (6本) |
| 平ワッシャー (M8) | (10個) |
| スプリングワッシャー (M8) | (10個) |
| ハードロックナット (M8) | (4組) |

はじめに

設置

組立・取付

調整

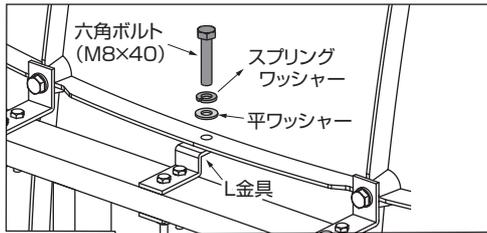
仕様

金具の取り付け

■ マウント金具 DSA-343 (別売) の取り付け

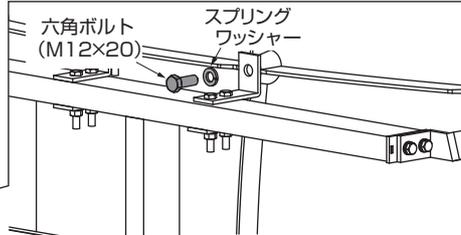
ご注意

反射鏡とマウント金具の上下に注意し、反射鏡とマウント金具の取付穴が合うようにして取り付けてください。



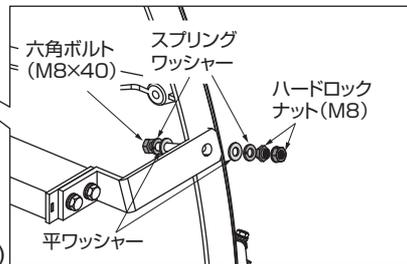
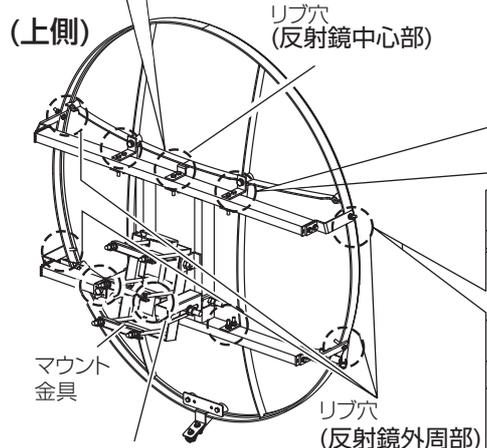
1 六角ボルト(M8×40)とスプリングワッシャー、平ワッシャーを反射鏡のリブ穴(反射鏡中心部)*とマウント金具中心部の反射鏡取付金具のL金具のネジ穴*に通して、仮止めしてください。

※:仮止めは反射鏡の2か所で行ってください。



2 六角ボルト(M12×20)とスプリングワッシャーを反射鏡取付金具のL金具のネジ穴*を通して、反射鏡のマウント取付ネジ穴へ入れ、仮止めしてください。

※:仮止めは反射鏡の2か所で行ってください。



3 六角ボルト(M8×40)とスプリングワッシャー、平ワッシャーをリブ穴(反射鏡外周部)のマウント取付穴*と、マウント金具*の反射鏡取付金具のL金具*の穴に通して、スプリングワッシャー、平ワッシャー、ハードロックナット(M8)(2個)で仮止めしてください。

※:仮止めは反射鏡の4か所で行ってください。

注: 仮止めした順序に、10か所を強固に締め付けてください。(下記の<ネジの締付トルクの基準>を参照)

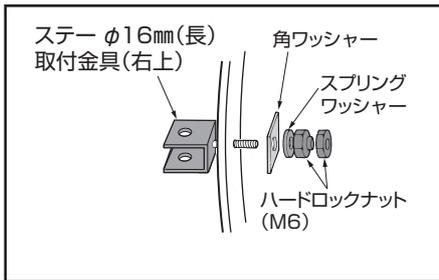
(下側)

■ コンバーターアーム取付金具とステー取付金具の取り付け

ご注意

ステー φ16mm(短)取付金具(右下)および(左下)と、コンバーターアーム取付金具(中央下)は、反射鏡から一旦取外してください。

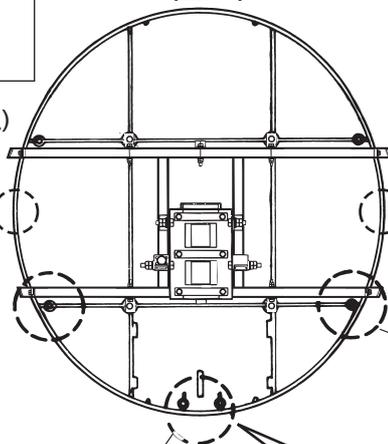
1 ステー φ16mm(長)取付金具(右上)および(左上)は、下図のように取付けて仮止めしてください。



(上側)

<ネジの締付トルクの基準>

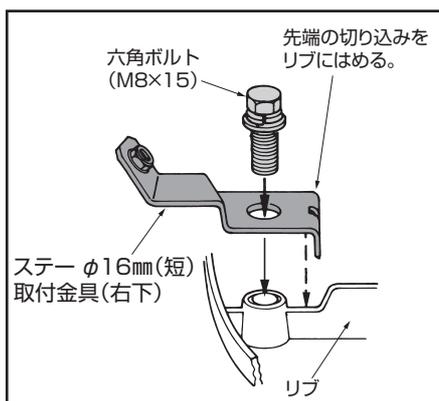
| ネジの呼び | 最終固定時の最適締付トルク |
|-------|--------------------------|
| M5 | 2~3N・m(20~30kgf・cm) |
| M6 | 4~5N・m(40~50kgf・cm) |
| M8 | 10~12N・m(98~118kgf・cm) |
| M12 | 35~42N・m(343~412kgf・cm) |
| M16 | 85~100N・m(833~980kgf・cm) |



ステー φ16mm(長)取付金具(左上)

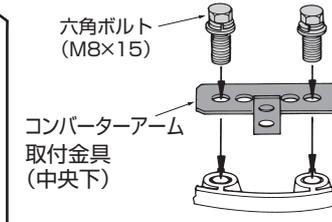
ステー φ16mm(短)取付金具(左下)

2 ステー φ16mm(短)取付金具(右下)および(左下)は、下図のように取付方向を変えます。



コンバーターアーム取付金具(中央下)

3 コンバーターアーム取付金具(中央下)は、下図のように取付方向を変えます。



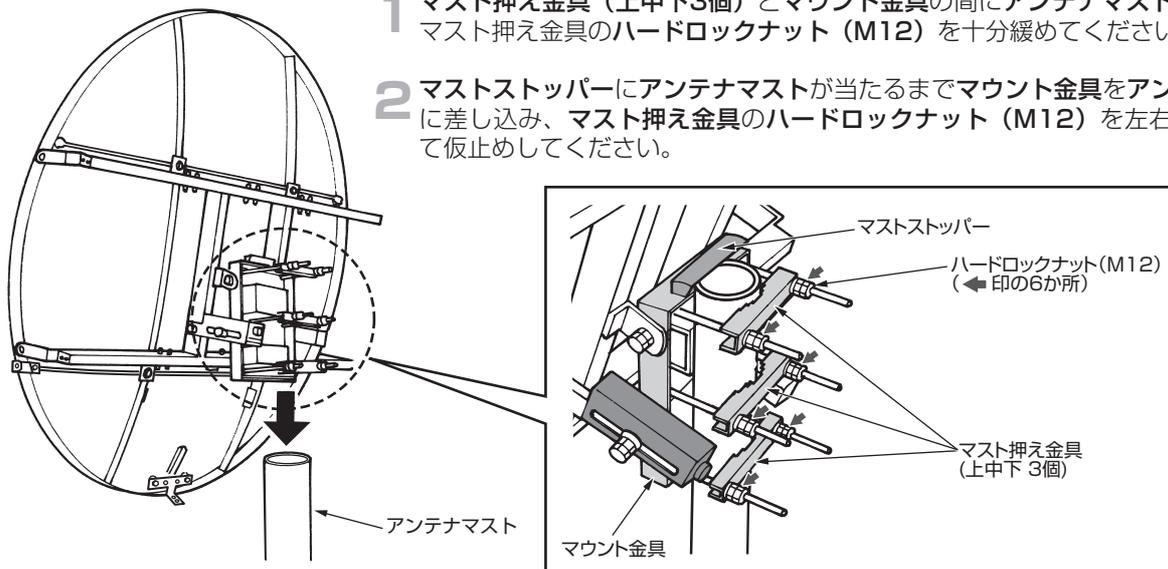
注: ネジ・ボルトの締付トルクは上記の<ネジの締付トルクの基準>を参照してください。

※ステー φ16mm(短)取付金具(右下)および(左下)は、左右逆に取り付けられないように注意してください。

アンテナマストへの取り付け (作業は安全のため2人以上で行ってください。)

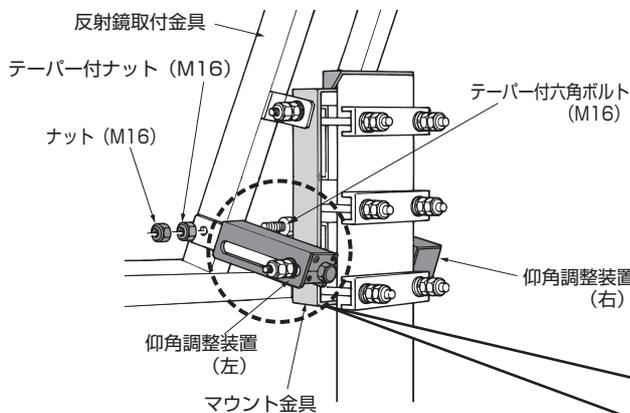
- アンテナマストが垂直に立っていることを確かめた後に、アンテナを取り付けてください。
- このアンテナは、マスト径φ114.3mm専用に設計しています。
必ず、マスト径φ114.3mm (JIS 100A) のマストベースをご使用ください。

- 1 マスト押え金具 (上中下3個) とマウント金具の間にアンテナマストが入るようマスト押え金具のハードロックナット (M12) を十分緩めてください。
- 2 マストストッパーにアンテナマストが当たるまでマウント金具をアンテナマストに差し込み、マスト押え金具のハードロックナット (M12) を左右均等に締めて仮止めしてください。

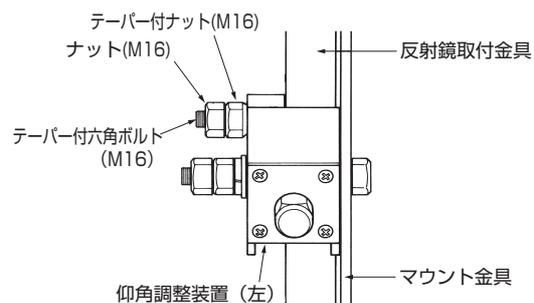


仰角調整装置の取り付け

- 下図のように仰角調整装置 (左) および (右) を反射鏡取付金具に取り付けられているボルト (M16) ・ナット (M16) を用いて反射鏡取付金具に取り付けます。



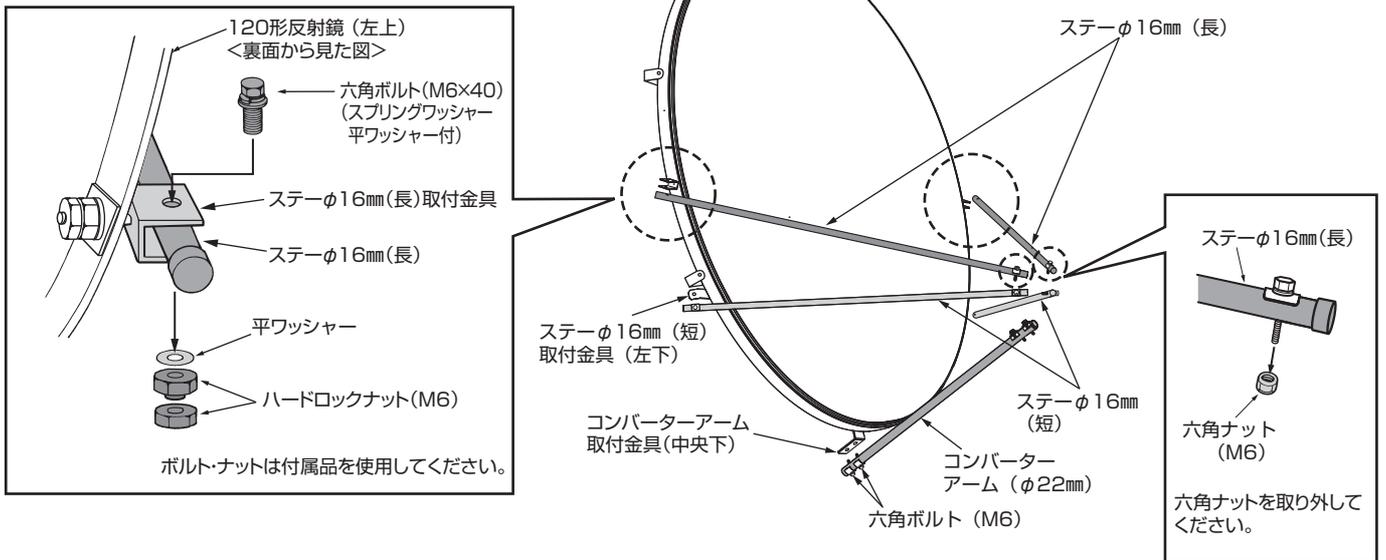
- 仰角調整装置取り付けのテーパ付六角ボルト(M16)、テーパ付ナット(M16)、ナット(M16)を取り付けてください。



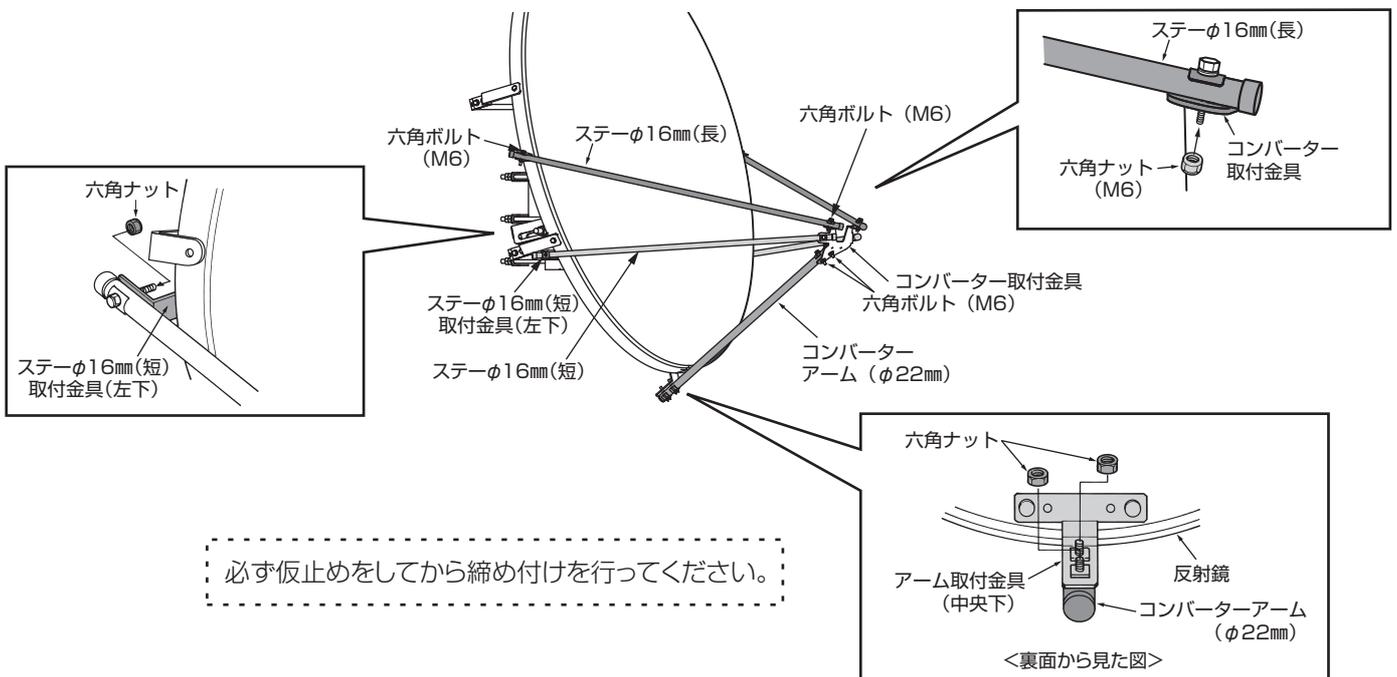
アンテナの組み立て

■ コンバーターアームとコンバーター取付金具の取り付け

- 1 反射鏡に取り付けたコンバーターアーム取付金具(中央下)に、コンバーターアーム(φ22mm)をアームの先端についている2本の六角ボルト(M6)で仮止めしてください。
- 2 反射鏡に取り付けたステーφ16mm(短)取付金具(右下)および(左下)に、ステーφ16mm(短)2本をステーの先端についている六角ボルト(M6)で仮止めしてください。
- 3 ステーφ16mm(長)2本を、それぞれ反射鏡に取り付けたステーφ16mm(長)取付金具(右上)および(左上)に
はめ込んでから、六角ボルトを上方から穴に通してください。
下方からハードロックナット(M6)で
仮止めしてください。



- 4 コンバーター取付金具を、コンバーターアームφ22mm、ステーφ16mm(長)およびステーφ16mm(短)についている六角ボルト(M6)で仮止めしてください。
 - 5 コンバーターアームφ22mm、ステーφ16mm(短)の各ボルトを反射鏡側から強固に締め付けて、一旦はずした六角ナット(M6)をボルトにはめ合わせて、締め付けてください。
 - 6 3で仮止めしたステーφ16mm(長)(2か所)を強固に締め付けてください。
 - 7 一旦はずした六角ナット(M6)をボルトにはめ合わせて、締め付けてください。
- 注:ボルトの締め付トルクは5ページの〈ネジの締め付トルクの基準〉を参照してください。

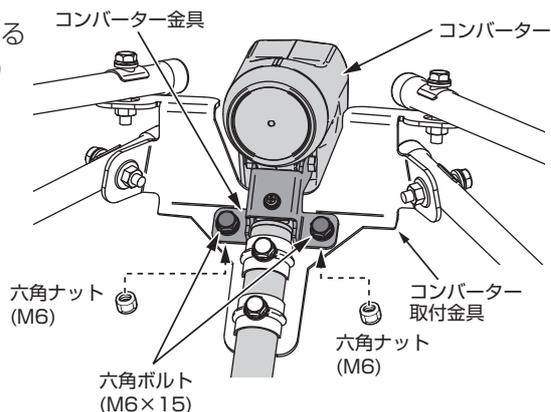


アンテナの組み立て (つづき)

■ コンバーターの取り付け

- 1 コンバーター金具の穴とコンバーター取付金具の穴が合っていることを確認し、コンバーター金具側から六角ボルト(M6×15)をはめて、指定のトルクで締め付けてください。
- 2 六角ナット(M6)とともに、六角ボルト(M6×15)をはめ合わせて、指定のトルクで締め付けてください。(注)

注: ボルトの締め付トルクは
5ページの〈ネジの締め付トルクの基準〉
を参照してください。

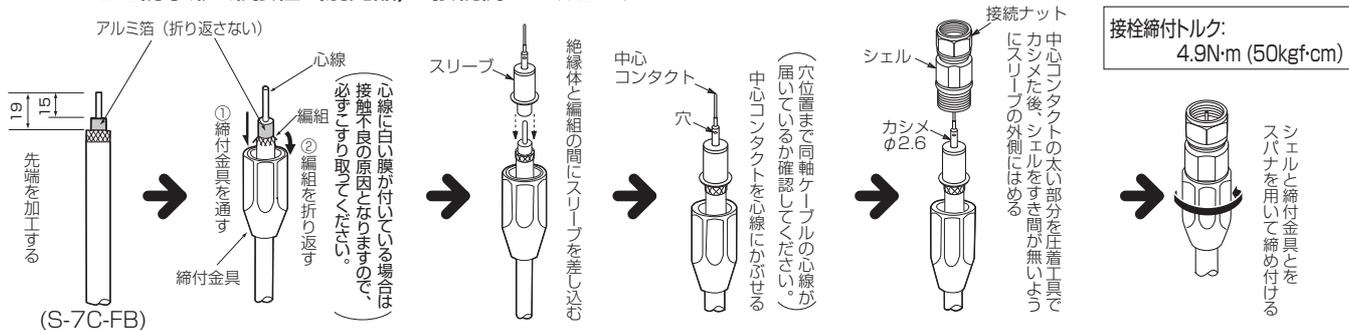


接栓への同軸ケーブルのつなぎ方

同軸ケーブルの種類によって接栓の種類と接続方法が変わります。

- 7C相当の同軸ケーブルをご使用になる場合: 防水形F形接栓をご使用ください。また、4K・8K放送(3224MHz)に対応したS-7C-FBの同軸ケーブルをご使用ください。
- 5C相当の同軸ケーブルをご使用になる場合: F形接栓と防水キャップをご使用ください。また、4K・8K放送(3224MHz)に対応したS-5C-FBの同軸ケーブルをご使用ください。

<S-7C-FBと防水形F形接栓 (別売品)の接続例> (単位mm)

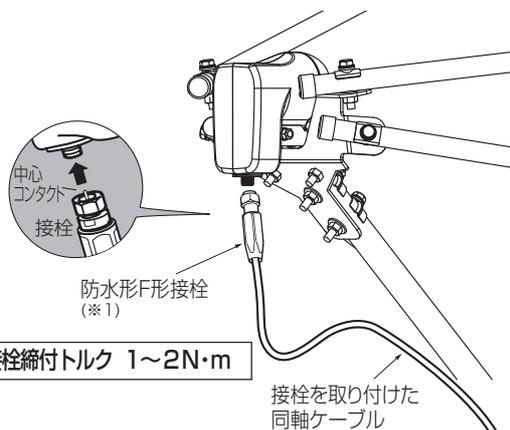


ご注意

- 接栓は同軸ケーブルに適したサイズのものをご使用ください。
- 同軸ケーブルの先端処理をする場合、心線、編組に傷をつけないでください。断線の原因になります。
- 編組と心線が接触しないようにしてください。テレビが見えなくなるだけでなく、電源部がショートして火災や感電の原因となります。
- 接栓を取り付けた同軸ケーブルの心線は、曲がっていないかを確認し、曲げないように接続してください。
- 加工方法はご使用になる防水形F形接栓の取扱説明書をご覧ください。

〈出力端子への接続〉

- 1 図のようにBS・110度CSコンバーターの出力端子に接栓を接続し、スパナなどで1~2N・mで締め付けてください。(2N・mを超えると破損するおそれがあります。)



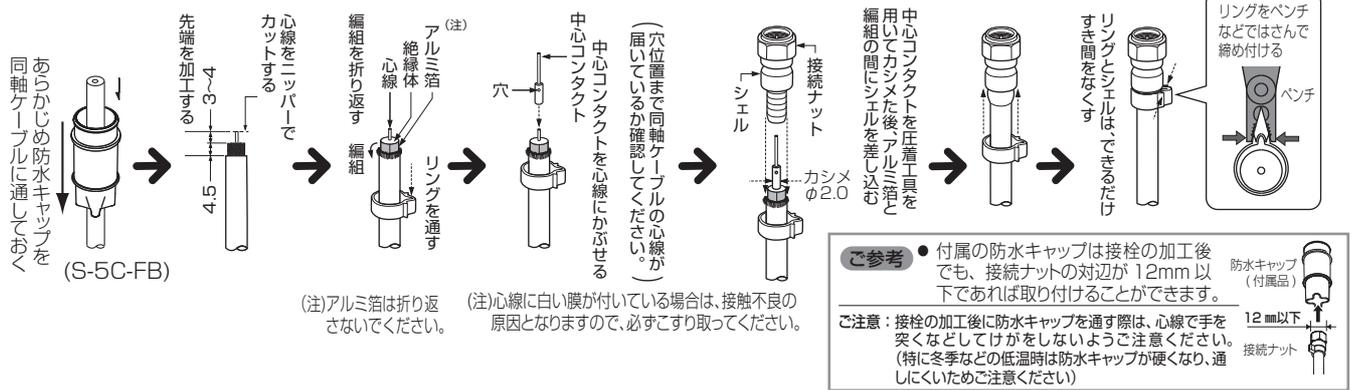
〈防水形F形接栓の防水処理〉

- 1 自己融着テープを巻き付けます。
- 2 自己融着テープ(市販品)は、長さ1.5倍に引張りながら接続ナットの上まで巻いてください。巻き終わったら指でおさえて密着させてください。
テープの幅の1/2が重なるように巻いてください。
- 3 さらにその上にビニルテープ(市販品)をすき間のないように巻き付けます。

(※1) 防水形F形接栓F-7FH接栓(別売)を使用する場合、付属の防水キャップは使用せずに接続してください。

接栓への同軸ケーブルのつなぎ方 (つづき)

＜S-5C-FBとF形接栓(別売品)の接続例＞ (単位:mm)



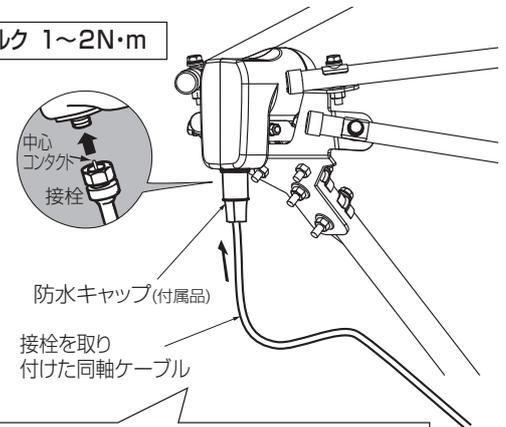
ご注意

- 防水キャップは同軸ケーブルを加工する前に通しておき、取付後は容易に抜けないことを確認してください。
- 防水キャップにはビニルテープを巻かないでください。雨水がたまって故障の原因となります。
- 接栓は同軸ケーブルに適したサイズのものをご使用ください。
- 同軸ケーブルの先端処理をする場合、心線、編組に傷をつけないでください。断線の原因となります。
- 編組と心線が接触しないようにしてください。テレビが見えなくなるだけでなく、電源部がショートして火災や感電の原因となります。
- 接栓を取り付けた同軸ケーブルの心線は、曲がっていないかを確認し、曲げないように接続してください。
- 加工方法はご使用になる防水形F形接栓の取扱説明書をご覧ください。

＜出力端子への接続＞(付属の防水キャップ使用)

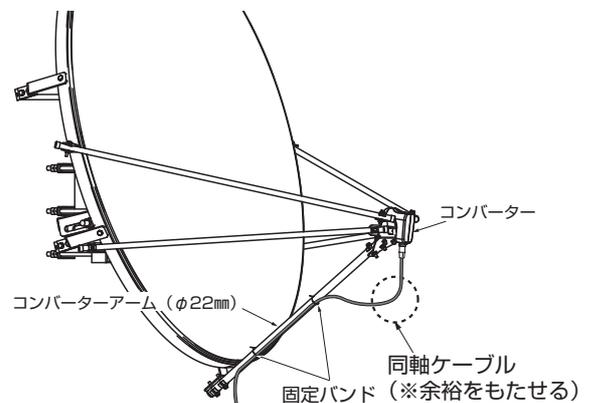
- 図のようにBS・110度CSコンバーターの出力端子に接栓を接続し、スパナなどで1~2N・mで締め付けてください。(2N・mを超えると破損するおそれがあります。)
- 同軸ケーブルに通しておいた防水キャップをコンバーターの奥までしっかり差し込んでください。
 - 同軸ケーブルはS-5C-FB相当以上の性能を有するものを、また、接栓は使用する同軸ケーブルに適したC15形のF形接栓をご使用ください。
 - 同軸ケーブルの先端処理をする場合、心線、編組に傷をつけたり、心線、編組は絶対に接触しないようご注意ください。

接栓締めトルク 1~2N・m



＜同軸ケーブルの固定方法＞

- 同軸ケーブルをコンバーターアームφ22mmに付属の固定バンドで固定してください。
※防水キャップを使用している場合は、はずれたり、曲がったりしないように同軸ケーブルを固定してください。



はじめに

設置

組立・取付

調整

仕様

アンテナを調整する

■ アンテナの仰角・方位角の設定方法

〈仰角の設定方法〉

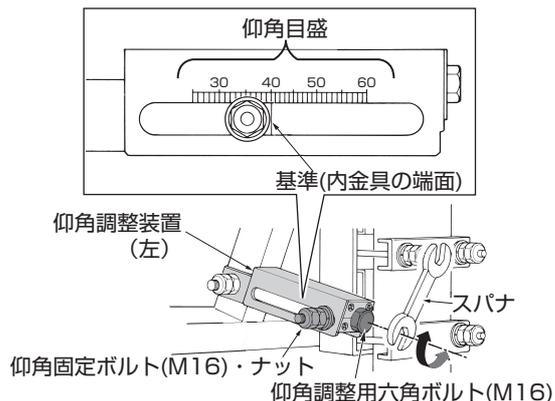
1 仰角調整装置の仰角調整用六角ボルトおよび仰角固定ボルト(M16)・ナットを緩めます。

2 アンテナ設置地区の仰角になるように、基準(内金具の端面)を仰角目盛に合わせます。
(「主な都市でのBS・110度CSアンテナの仰角と方位角の目安」(次ページ)参照)

3 1で緩めた仰角固定ボルトを仮止めします。

※仰角調整装置(右)は補強用です。方向調整は仰角固定ボルトを緩めた状態で行ってください。

※正確な仰角の調整は、CS・BSレベルチェッカーまたはスペクトラムアナライザーなどを用いて行います。



〈方位角の設定方法〉

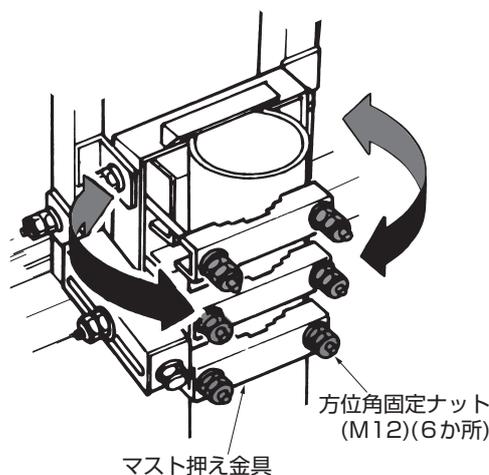
1 マスト押え金具の方位角固定ナット(M12)(6か所)を緩めます。

2 アンテナ設置地区の方位角になるように、反射鏡の向きを合わせます。
(「主な都市でのBS・110度CSアンテナの仰角と方位角の目安」(次ページ)参照)

3 1で緩めた方位角固定ナット(M12)(6か所)を仮止めします。

※ビルの屋上など市販の方位磁石の近くに磁性体がある場合は、方位磁石が正確に働かない場合があります。この場合は、方位磁石を移動させながら正確な方位角を求めてください。

※正確な方位角の調整は、CS・BSレベルチェッカーまたはスペクトラムアナライザーなどを用いて行います。

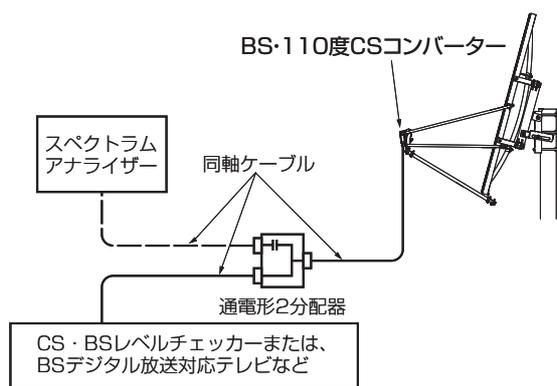


■ 仰角・方位角の正確な調整

本書ではBS・110度CSアンテナの正確な方向調整を、CS・BSレベルチェッカーまたはスペクトラムアナライザーなどを用いる方法で説明します。

1 BS・110度CSアンテナをCS・BSレベルチェッカーまたは通電形2分配器などを用いて、スペクトラムアナライザーまたはBSデジタル放送対応テレビなどに接続してください。

2 コンバーター電源(DC15V)は、CS・BSレベルチェッカーなどから通電形2分配器などを介して同軸ケーブルに重畳してコンバーターへ供給してください。



- 3 マスト押え金具の方位角固定ナット(M12) (6か所)を緩めます。
- 4 反射鏡を左右にゆっくりと振り、CS・BSレベルチェッカーの入カレベルが最大となるよう調整します。
- 5 反射鏡が左右にずれないように注意しながら3で緩めた方位角固定ナット(M12) (6か所)を仮止めます。
- 6 仰角固定ボルト(M16)・ナットを緩めます。
- 7 仰角調整用六角ボルトを回し、反射鏡の向きを上下にゆっくりと振り、CS・BSレベルチェッカーの入カレベルが最大となるよう調整します。
- 8 反射鏡が上下にずれないように注意しながら6で緩めた仰角固定ボルト(M16)・ナットを仮止めます。

※この時、サイドローブと間違えないために、最大入力レベルを乗り越えて次のピークとなるまで仰角および方位角を調整して、図の特性になっていることを確認してください。その後、最大入力レベル時(メインローブ)の仰角および方位角にアンテナの方向を戻してください。

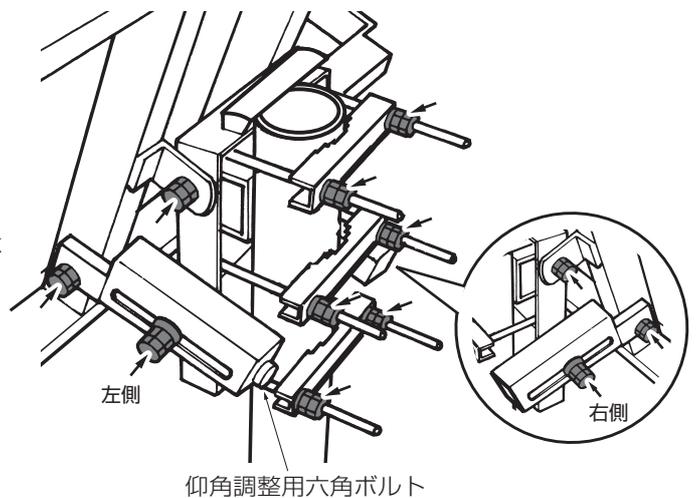
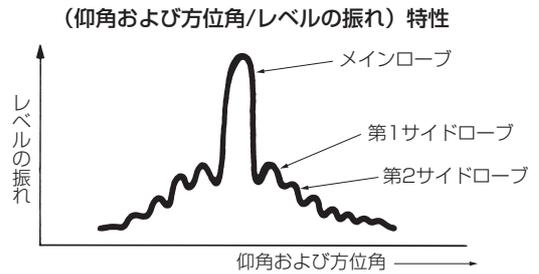
((仰角および方位角/レベルの振れ)特性参照)

- 9 矢印で示すボルトおよびナット(12か所)を強固に締め付けます。

※方位角のボルト・ナット締め付けは方位角がずれないように左右均等に行なってください。

注:ネジ・ボルトの締め付けトルクは5ページの〈ネジの締め付けトルクの基準〉を参照してください。

- 10 仰角・方位角を固定した後、ズレのないことをCS・BSレベルチェッカーまたはスペクトラムアナライザーなどで再確認してください。

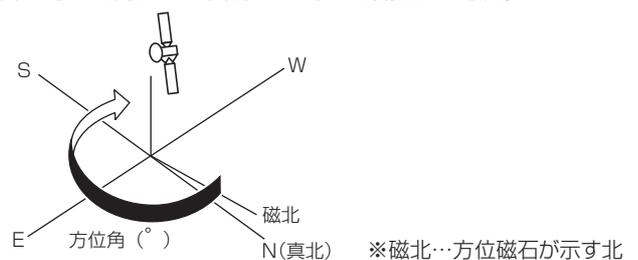
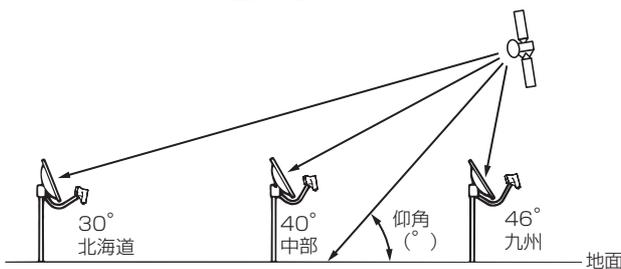


■ 主な都市でのBS・110度CSアンテナの仰角と方位角

仰角、方位角は地域により異なります。同じ地域でも場所により多少異なりますので、下表をご参照ください。

〈仰角…受信点から衛星を見上げた角度〉

〈方位角…磁北から東回りに測った衛星の角度〉



■ 主な都市でのBS・110度CSアンテナの仰角と方位角の目安 (地域や場所によって異なります)

| 都市名 | 仰角(°) | 方位角(°) | 都市名 | 仰角(°) | 方位角(°) |
|-----|-------|--------|-----|-------|--------|-----|-------|--------|-----|-------|--------|------|-------|--------|
| 稚内 | 29.1 | 227.4 | 宇都宮 | 37.2 | 230.5 | 浜松 | 40.1 | 229.2 | 神戸 | 41.6 | 226.1 | 福岡 | 45.2 | 220.4 |
| 旭川 | 30.1 | 229.0 | 水戸 | 37.0 | 231.3 | 富山 | 38.7 | 227.2 | 姫路 | 41.8 | 225.3 | 大分 | 44.9 | 222.4 |
| 釧路 | 29.6 | 231.6 | 前橋 | 37.9 | 229.6 | 金沢 | 39.2 | 226.6 | 和歌山 | 42.0 | 226.4 | 熊本 | 45.8 | 221.4 |
| 札幌 | 31.2 | 228.2 | 土浦 | 37.4 | 231.2 | 岐阜 | 40.1 | 227.6 | 鳥取 | 41.4 | 224.2 | 佐賀 | 45.6 | 220.5 |
| 函館 | 32.5 | 228.2 | 大宮 | 37.9 | 230.6 | 名古屋 | 40.1 | 228.0 | 松江 | 41.9 | 222.6 | 長崎 | 46.3 | 220.3 |
| 青森 | 33.3 | 228.8 | 浦和 | 38.0 | 230.7 | 豊橋 | 40.2 | 228.8 | 岡山 | 42.3 | 224.4 | 宮崎 | 46.2 | 223.1 |
| 盛岡 | 34.0 | 229.9 | 千葉 | 37.9 | 231.1 | 津 | 40.8 | 227.7 | 広島 | 43.4 | 222.7 | 鹿児島 | 47.0 | 222.1 |
| 秋田 | 34.6 | 228.7 | 東京 | 38.0 | 230.9 | 福井 | 39.8 | 226.4 | 徳島 | 42.5 | 225.7 | 奄美大島 | 50.5 | 223.2 |
| 仙台 | 35.3 | 230.5 | 甲府 | 38.7 | 229.5 | 大津 | 40.9 | 226.7 | 高松 | 42.6 | 224.9 | 那覇 | 53.6 | 222.4 |
| 山形 | 35.6 | 229.9 | 厚木 | 38.4 | 230.7 | 京都 | 41.0 | 226.5 | 松山 | 43.7 | 223.5 | 宮古島 | 56.3 | 219.6 |
| 福島 | 35.9 | 230.4 | 横浜 | 38.3 | 231.0 | 奈良 | 41.4 | 226.7 | 高知 | 43.5 | 224.8 | 西表島 | 57.6 | 217.5 |
| 新潟 | 36.6 | 228.6 | 長野 | 38.2 | 228.4 | 大阪 | 41.5 | 226.5 | 山口 | 44.3 | 220.9 | 石垣島 | 57.4 | 218.0 |
| 郡山 | 36.3 | 230.5 | 静岡 | 39.4 | 229.8 | 堺 | 41.5 | 226.5 | 北九州 | 44.7 | 220.9 | 与那国島 | 57.9 | 215.6 |

※表の方位角は方位磁石が示す北(磁北)から時計回りにみた時の角度です。方位磁石を使用する場合の参考に使用してください。

はじめに

設置

組立・取付

調整

仕様

規格特性

| | | | |
|-------------------|--------------------------------------|-----------------------|---|
| 品名 | 120形BS・110度CSアンテナ | コンバーター局発位相雑音 (dBc/Hz) | -55 (1 kHzオフセット) 以下 -73 (5 kHzオフセット) 以下 -83 (10kHzオフセット) 以下 |
| 型番 | BC1203SH | コンバーター電源 (ケーブル重量) (V) | DC 13.2~16.5 (DC15V入力時 2.4W以下) 注2) |
| アンテナ有効径 (cm) | 120 | コンバーター出力インピーダンス (Ω) | 75 (F形) |
| 受信偏波 | 右旋円偏波/左旋円偏波 | 耐風速 (m/s) | 受信可能風速50、復元可能風速70、破壊風速90 注3) |
| 受信周波数 (GHz) | 11.71~12.75/11.73~12.73 | 適合マスト径 (mm) | φ114.3専用 |
| コンバーター出力周波数 (MHz) | 1032~2072/2224~3224 | 仰角調整範囲 (°) | 25~60 |
| 利得 (dB) | アンテナ部 BS:41.8 CS:42.1 コンバーター部:53 注1) | 方位角調整範囲 (°) | 0~360 |
| コンバーター雑音指数 (dB) | 0.45 注1) | 質量 (kg) | 22.0 |
| G / T (dB/K) | BS:22.7 CS:23.0 注1) | | |

注1) 利得、コンバーター雑音指数、G/Tは標準値です。

注2) コンバーター電源の規格は、コンバーター出力端子に必要な電源電圧です。

注3) 受信可能風速：アンテナに風圧を加えている間、電気的性能の劣化が許容範囲内であるときの最大風速。

復元可能風速：アンテナに風圧が加わった後、アンテナの方向を再調整することによって、電気的性能を満足する最大風速。

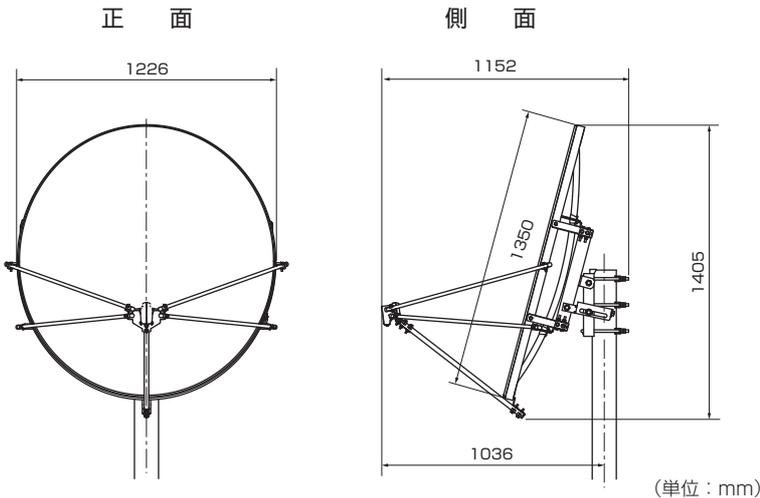
破壊風速：アンテナに風圧を加えている間、アンテナの一部または全部が飛散しない最大風速。

仕様は改良により、予告なく変更させていただくことがありますのでご了承ください。

2K4K8K 2K・4K・8K放送対応マークは、BS・110度CS 2K・4K・8K放送(3224MHz)に対応した機器であることを示します。

外形寸法図

寸法はアンテナ仰角40°ポール径φ114.3mmの場合の120形専用マウント使用時の目安の最外形寸法です。



製品に関する
お困りごとを解決!

Dサポ!
DXアンテナ サポートポータル

スマートフォンで
各種設定方法が
わかる⇒

QRコードからアクセスしてください。

ホームページでも初期設定や、各種端末の詳細手順を確認できます。
[1002] QRコードからアクセスしてください。

※この製品を処分するときは、産業廃棄物として処理してください。

保証書

●無料修理規定

- 本保証書は、お買い上げから下記保証期間内に故障した場合、無料修理規定により、当社が責任をもって無料修理を行なうことをお約束するものです。(消耗部品は除く)したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明な場合は、お買い求めの販売店、当社営業所またはカスタマーセンターにお問い合わせください。なお、商品を直接当社へ送付した場合の送料などはお客様の負担とさせていただきます。また、保証期間経過後の修理についても、お買い求めの販売店、当社営業所またはカスタマーセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
- 保証期間中、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い求めの販売店を通じて無料修理いたしますのでお申し付けください。
- 次のような場合には保証期間内でも有料修理となります。
 - ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
 - お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。
 - 火災、地震、噴火、洪水・津波などの水害、落雷、その他の天変地異、戦争・暴動による破壊行為、公害、塩害、ガス害、ねずみや昆虫、鳥など動物の行為による損傷、指定以外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障および損傷。
 - 塗装の色あせなどの経年劣化や、使用に伴う摩擦などにより生じる外観上の現象。
 - 用途以外(例えば車両、船舶への搭載など)に使用された場合の故障および損傷。
 - 本保証書を提示・添付されていない場合。
 - 本保証書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い求めの販売店の記入のない場合、または字句を書き換えられた場合。
- 製品対価以上の保証はいたしません。
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。(This Warranty is valid only in Japan.)
- 期間中の転居、贈答品、その他の理由によりお買い求めの販売店に修理が依頼できない場合には、当社カスタマーセンターまたは当社営業所にご相談ください。
- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

| | | | |
|---------|------------|------------------------|--|
| 型番 | | BC1203SH | |
| ご住所・ご店名 | _____ | | |
| | 電話() | _____ | |
| お名前 | ふりがな _____ | | |
| | 住所 | _____ | |
| お買上年月日 | 保証期間 | お買上日から 1 年 間 | |
| 年 月 日 | | | |

※本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管ください。

カスタマーセンター
土・日・祝日もご利用ください!



0570-033-083

※全国一律料金でご利用いただけます。
※携帯電話・PHSからもご利用いただけます。
※ナビダイヤルは各社音声通話定額サービスの対象外となっております。

(1908)

DXアンテナ株式会社
5234-6

■受付時間 9:30~17:00 (夏季・年末年始休暇は除く)
■一部のIP電話で上記番号がご利用にならない場合: 050-3818-9016

ホームページアドレス
<https://www.dxantenna.co.jp/>